

ジェノサイド (Genocide) ギリシャ語で民族・種族を意味する「GENOS」とラテン語の殺害「CIDERE」を合わせた言葉。1948年に採択されたジェノサイド条約(集団殺害罪の防止および処罰に関する条約)、98年に採択された国際刑事裁判所(ICC)条約で国際法上の犯罪と規定されて

いる。国民的、民族的、種族的、宗教的集団の全部または一部を破壊する意図で構成員を殺害したり、重大な危害を加えたりすることなどと定義づけられた。政治的集団などへの虐殺も含むべきだと指摘が根強い。文化財の破壊や言語の使用禁止を念頭に「文化的ジェノサイド」を認めるよう求める意見もある。

田井中雅人 国末 憲人

ジェノサイド(集団殺害)や戦争で深い傷を負った社会の復興には何が求められるのか。各国の外交努力や国連機関の活動に任せられたという一歩に学際や市民団体、メディアといった立場から取り組む動きが活発だ。3月に東京と大阪で開かれた三つの国際シンポジウムから世界各地の取り組みと課題を探った。

# 集団殺害・戦争から復興へシンポ 傷癒やせ 民も動く

## 顔写真・証言 資料館に

### グアテマラ、和解探る

中米グアテマラの内戦中に起きた虐殺は、軍が先住民を標的にした典型的なジェノサイドだといわれる。NGO「平和のための歴史」代表のフエルナンデス・モスコソさん(43)は実態解明に携わり、同国初の「虐殺資料館」を設立した。国立民族学博物館(大阪府吹田市)で11日に開かれた「ジェノサイド後の社会の再編成」でその体験と課題を語った。

グアテマラ内戦 1960年以降、軍が左翼ゲリラ勢力を駆逐する目的で、人口約1200万人の過半数を占めるマヤ系先住民の村を襲った。96年に政府と左翼ゲリラが和平協定に調印。36年間の紛争で国連の推計では全土で626の村が破壊され、死者・行方不明者は20万人以上。その8割以上が先住民だったとされる。



05年5月、グアテマラ市の西130キロの村で行われた遺体の発掘作業。A.P.

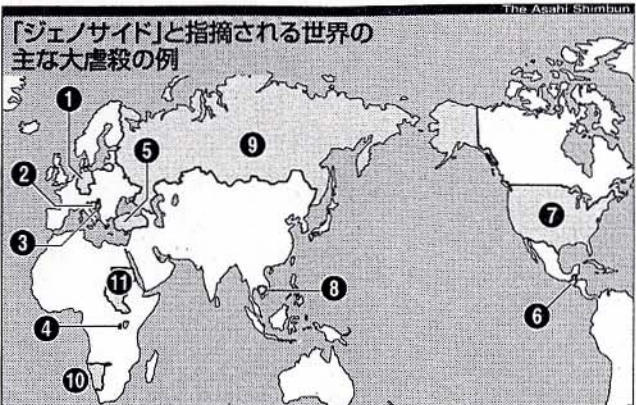
部のパンス村(人口約4千人)に開設された。78年5月、土地獲得闘争に集まった先住民マヤの農民が軍に殺害され、35人を殺害したとされる。村の建物の一角にパネルが展示され、犠牲者7人の経歴と生存者9人の証言が顔写真とともに並ぶ。運営は若い教師ら地元住民12人が無報酬であたると。地域の子どもの教師らに引率されて訪れることが多いという。モスコソさんは、軍が虐殺を隠すために遺体を捨てた「秘密墓地」を90年代初めから発掘。DNA鑑定で遺骨の身元を確かめたという。資料館を他の村にも広げたいと考えているが、

### 三つどもえの旧ユーゴ 「虐殺を正当化」 民族意識が妨げ

セルビア人、クロアチア人、モスラム人が三つどもえで殺し合い、「民族浄化」の言葉も生んだ旧ユーゴスラビアのボスニア・ヘルツェゴビナ内戦で、いかに民族意識がつけられ、それが復興の妨げとなっているか。ブルガリアのソフィアにある少数民族・異文化間関係研究国際センター国際企画部長のマルコ・ハイデ

イニャクさんが、東京大で18日開かれた「暴力ジェノサイドの記憶―平和構築過程におけるその意味」で現状報告した。旧ユーゴのスロベニア出身のハイディニャクさんは、旧ユーゴ分裂後、各民族が民族としての自覚を強めたという。セルビア人の場合、第2次世界大戦中クロアチアのファシスト集団「ウスタシャ」から受けた虐殺を思い起こす形で民族意識の形成が進み、クロアチアでは「オスマントルコの欧州侵略をクロアチアが防いだ」などの神話が強調された。

その結果、双方とも自分に都合の悪い歴史を忘れ、自らを被害者と位置づける集団記憶がつけられ、その後も虐殺などを正当化する手段として使われた。ボスニア和平から10年余りたっても各民族は自らを犠牲者と思ひ込み、セルビアでミロシェビッチ元大統領の遺体が「愛国者」として迎えられるようなことになるのだという。ハイディニャクさんは「自らがどんな罪を犯したかを明らかにしないと、歴史は繰り返されかねない」と訴える。



- 「ジェノサイド」と指摘される世界の主な大虐殺の例
- 1 ホロコースト 第2次大戦中のナチスドイツによるユダヤ人大虐殺
  - 2 「クロアチア独立国」の虐殺 第2次大戦中にクロアチアのファシスト組織「ウスタシャ」がセルビア人らを虐殺
  - 3 旧ユーゴ民族浄化 92～95年のボスニア・ヘルツェゴビナ紛争などでセルビア人勢力がモスラム人らを虐殺
  - 4 ルワンダ大虐殺 内戦中の94年に多数派フツ族民兵らが少数派ツチ族を虐殺
  - 5 アルメニア人大虐殺 第1次大戦中のオスマン帝国による大虐殺。トルコ側は認めていない
  - 6 グアテマラ先住民虐殺 80年代前半に政府軍がマヤ系民族を虐殺
  - 7 アメリカ先住民虐殺 米国の西部開拓者らによるインディアン虐殺
  - 8 カンボジア大虐殺 70年代後半にポル・ポト政権が都市住民や知識人らを殺害
  - 9 スターリン大虐殺 30年代の旧ソ連で富農や政治的敵対者を殺害
  - 10 ナミビア先住民虐殺 1904～07年、旧独領西南アフリカで植民地支配に抵抗したヘレロ族らを独軍が虐殺
  - 11 スーダン虐殺 2004年にスーダン政府の支援を受けたアラブ系民兵組織が西部のダルフル住民を虐殺

### 「過激派は少数、明示」 平和構築に向け提言

東京大で10日あった「人間の安全保障のための平和構築」(朝日新聞社後援)では、ジェノサイドや内戦を防ぐ試みの例として、米国が「対テロ戦争」を推進するなかでの平和構築のあり方が議論された。文化間交流指導学校(ローマ)代表のゲザ・テッセンニさんは、欧米

とイスラム社会との対立の構図が強調される近年の傾向に危機感を表明。預言者ムハンマドの風刺画問題を例に検証した。テッセンニさんによると、民族や宗教の対立が目立つ場合も、多くの市民は対立と無縁の平和な生活を望んでいる。その中で、少数の人たちが宗教の違いやナショナリズム